

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一日吉町学童保育所及び西恋ヶ窪学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズ・センター事業団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係ること。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計	
収入	89,657,176	91,754,402	92,105,397	273,516,975	
収入内訳	指定管理料	89,657,176	90,484,240	89,881,256	270,022,672
	利用料金	0	0	0	0
	その他	0	1,270,162	2,224,141	3,494,303
支出	89,594,932	91,697,770	92,424,904	273,717,606	
収支差額	62,244	56,632	▲ 319,507	▲ 200,631	

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
画収の支適計	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	狭隘状況への対応として分散保育を実施している施設について人件費の執行を確認しながら、収支計画に基づき運営していた。	3	3
業務の履行状況の評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	概ね順調に実施されている。近隣の福祉施設との地域交流行事を再開した学童は、先方との調整を図り実施することができ、手作りおやつ再開もできているところがあった。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	市の条例等に基づいた開所日及び時間を遵守している。第一・第二東恋ヶ窪学童、第一日吉町学童は私学に通う児童への対応もミスなく開所できていた。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	市の配置基準に基づいた職員配置を行っていた。	3	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者が配置され施設内に掲示されていた。非常勤職員も放課後児童支援員認定資格を持っているものがあり適正に配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類については、施錠できるキャビネットに保管し適正に取り扱っていた。事業報告書及び月報等は遅れることなく市へ提出していた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	全ての施設が常に清潔で明るい環境づくりを保っており、毎日の床・トイレ・水回りの清掃がされている。定期的な机や手洗い場の磨き掃除を行っていることで清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	仕様書に基づいた点検等は遅滞なく実施され、報告もされていた。	3	3

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		3箇年平均	
利用者数 利用件数 利用率	第一東恋ヶ窪学童	78.5%	第一東恋ヶ窪学童	79.0%	第一東恋ヶ窪学童	92.9%	第一東恋ヶ窪学童	83.5%
	第二東恋ヶ窪学童	72.3%	第二東恋ヶ窪学童	93.3%	第二東恋ヶ窪学童	108.0%	第二東恋ヶ窪学童	91.2%
	第一日吉町学童	64.1%	第一日吉町学童	62.3%	第一日吉町学童	63.8%	第一日吉町学童	63.4%
	西恋ヶ窪学童	61.1%	西恋ヶ窪学童	63.6%	西恋ヶ窪学童	68.8%	西恋ヶ窪学童	64.5%
	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)		※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)		※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)		※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	
利用者満足度(%)	第一・第二東恋ヶ窪学童	92.1%	第一・第二東恋ヶ窪学童	97.2%	第一・第二東恋ヶ窪学童	97.0%	第一・第二東恋ヶ窪学童	95.4%
	第一日吉町学童	100.0%	第一日吉町学童	100.0%	第一日吉町学童	100.0%	第一日吉町学童	100.0%
	西恋ヶ窪学童	93.0%	西恋ヶ窪学童	94.7%	西恋ヶ窪学童	100.0%	西恋ヶ窪学童	95.9%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートでは、全体に対するの満足度において、99%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、引続きとても高い水準を維持している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	狭隘状況の心配の声に関しては分散保育の体制をとり安心して過ごせるように配慮していた。トイレについて意見が多かったが、修繕対応に関する回答は市で行った。天井、壁のカビ除去やコーキング作業を自主的に行い尽力してくれていたことで、保護者が安心してくださっていた。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	書類及びパソコンは書庫へ施錠の上格納し、適正に取り扱っている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	年間をとおして苦情はなかった。保護者から相談があった場合には、早急な解決を図るため報告連絡体制を整えていた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	書類及びパソコンは書庫へ格納し施錠し、適正に取り扱っている。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	団体が主催するコンプライアンス動画研修は職員全員が受講し、子ども基本法の研修等も積極的に受講していた。市で主催したアレルギーイベント研修やジェンダー研修、障害児への関りについての研修等、積極的な参加があった。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	児童の毎日の変化等を確認し、細やかに把握していた。1日の保育の流れをボードで示し、全体の児童にとって見通しが立つように周知していた。施設内の整理整頓、落ち着く場所の確保等児童の特性に合わせて過ごしやすい環境を整え、障害の有無に関わらず同じような経験を積むことが出来るよう心掛けていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準特性に評価した	自然災害等への対応	4	全体の施設において自然災害等に対する訓練を行っており、児童の心の安定を配慮した上で職員が不審者に紛争したり、紙芝居を活用したり、警察の方をお招きした不審者訓練など工夫を凝らしていた。また、下校時刻で地震発生と想定した学校と学童保育所の合同訓練を実施していた施設もあり熱心に取り組んでいた。	4	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	地域で活動している方に来てもらい、トランプやロープを使ったマジックショーを披露していただいた。子どもたちからもメッセージカードをお礼に渡し交流を図っていた。他にも、木材を提供して下さる方の協力を得て木工工作を行うなど、地域の人材と運営を結びつけることができていた。自主事業においては、3学童合同交流会を五小体育館にて実施し、学童保育所のOBも集まり縁日のようにして楽しみ、地域づくりの場となっていた。行事や分散保育時の学校の借用においては、学校の協力と理解を得た上で実施できていた。狭隘状況が発生している施設では、放課後子どもプラン委員と連携し参加人数の確認は委員さんが動いてくださる等信頼関係が出来ていた。	4	4
	配慮を要する児童への対応について	3	アレルギーのある児童の保護者との事前面談を行い、おやつ提供前の2人以上による原材料チェックを行っていた。イベントチェックも確実に、保護者との確認も怠らず行っていた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指標	評価項目	有無	実施状況	有無	前年度	前々年度
実提案内容の選定時の状況	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有

主管課長の評価

総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	施設の狭隘状況及び地域の人材を生かした演奏会等の行事開催に応じて、学校の協力を得て学校施設を借用する等、学校と地域の方々との調整力を発揮し充実した学童保育運営を行っていた。また、保護者等と適時情報交換を行い、障害児やアレルギー児の対応について、職員間で情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。また、地域の方々の協力を得て、あやとり体験、マジックショー開催、木工、じゃがいも収穫体験等を行うとともに、放課後子どもプランと共催で水鉄砲行事を実施するなど、児童の健全育成につながる多様な体験・活動を提供していた。引き続き、学校や地域等との連携を深めながら保育の充実を図るとともに、安心・安全な施設の管理・運営を期待したい。	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価

総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	指定管理10年目となった。新型コロナウイルス感染症が5類になったこともあり、しばらく実施出来なかった手作りおやつや手作り昼食などの行事も実施することができた。5類になったとはいえ感染症対策については、気を抜かず、昨年度同様、学校の協力のもと、教室や体育館、校庭を使用しながら分散保育を行った。より良い保育を行えるよう、職員は研修を受講し、内容等を職員間で共有した。また、他現場に入り、よい点は持ち帰り、改善すべき点は伝え合うことで、より良い学童保育所運営に努めた。保育のことや、対応に迷ったり、トラブルが起きたときには、法人内で共有、相談し、市にも相談、報告を密に行った。	3	3

指定管理者評価委員会の評価

総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	地域の方々との関係を大切にしており、その方たちの協力を得て行事を開催したり、マジックショーの披露をさせていただいたりしていた。子どもたちからは、お礼のメッセージカードを渡し、双方向での交流がなされていた。職員の退職等への対応についても、法人として代替職員を適切に配置し、保育に当たっていた。令和6年度からの新たな指定管理期間においても、引き続き誠実に施設の管理運営を行っていただきたい。	3	3